

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス LUMO代官山校		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 31日		2025年 2月 6日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	56	(回答者数) 21
○従業者評価実施期間	2025年 1月 31日		2025年 2月 6日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 11日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	楽しんで通っていただくことができています。	基本的な運動プログラムに加え、指導員がクラスの子どものニーズや課題点に合わせてプログラムを提供している。できたことを称賛し、成功体験に繋げていく。また、練習時間を設けて自分と向き合う時間を作ったり、発表会の時間を設けたりすることで子どもが自ら挑戦できるよう工夫している。子どもの意見も聞き、場合に応じて取り入れ尊重しながら、自由度の高い安心できる空間づくりを目指している。	子ども同士の関わりを深める時間を設け、社会性を育めるような運動プログラムを提供する。指導員からだけでなく、他児から認められることで、より自信がつくことが予想される。
2	支援室の広いスペースを活かし、子どもたちがのびのびと運動することができています。	支援室全体を使いスピードの出せるプログラムをおこなうことができる。また年齢や特性に応じて、スペースを区切り同時に異なったプログラムをおこなっている。	運動中、子どもが痙攣等でクールダウンが必要になった際に落ち着ける環境(光や色彩、音等の情報が限りなく少ない)があればより安心できるのではないかと。
3	サービス提供内容、運動に関する事だけでなく保護者様からの相談にも向き合うことができています。	その日の様子をお伝えするだけでなく、子どもから聞いた学校園のお話や送迎時の様子から気付いたことなどをお伝えし、保護者様からの相談などにも積極的に応じている。また会話を通じコミュニケーションを図ることで安心感を得ていただけるように努めている。	情報共有や話し合いを密におこない、運動だけでなく生活面での困りごとの改善にも対応できるよう、個々の利用者様に対して職員の意識を高め応じていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	固定枠に空きがなく、キャンセル待ちの方が多くいること。	固定枠に空きがないため。	キャンセルがでるとすぐにリカバリーを行うようにしている。土日開校した場合は保護者様のご希望に沿ってご案内させていただく。
2	職員の異動など入れ替わりが多いことで、子どもたちの環境を変化させてしまっている。	職員の専門性などを踏まえ、配置が換わることもあるため	子どもとの信頼関係を築いていくために一定期間が必要であり、子どもの安心感こそが利用者様にとっての重要な要素である。職員のスキルアップも含め、信頼される校舎運営を目指していく。
3			